

株式会社ジェネレーションパス  
証券コード：3195

# GR

GENEPA REPORT vol.5  
2018年10月期 報告書 2017.11.1-2018.10.31

# 2018年10月期は売上高、各段階利益ともに過去最高を達成！ 今後も「世代を越えた人と人との懸け橋」という経営理念の下、 企業価値向上に取り組んでまいります。

代表取締役 **岡本 洋明**

## ■ 当期の取り組み・業績

2018年10月期におけるわが国経済は、所得環境や雇用情勢の改善を背景に、個人消費が緩やかな回復基調で推移しました。当社グループが属するEC市場におきましては、継続的な宅配料金の値上げや宅配総量の規制等の不安が根強く残るものの、国内・海外ともに個人消費者の購買状況は引き続き上昇傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、主力事業であります「ECマーケティング事業」につきまして、継続的なビッグデータの収集とその分析を進め、マーケットニーズに沿った事業展開を推し進めてまいりました。EC店舗におきましては、2018年10月31日時点における出店店舗数は、連結合計で73店舗（単体：55店舗、子会社合計：18店舗）となり、連結売上高は過去最高を達成いたしました。

### ① ECマーケティング事業

ECマーケティング事業におきましては、収益の基盤となる各種システムの強化を進めるとともに、高騰した宅配料金への対応策として物流拠点の多角化、及び宅配料金の一部商品の販売価格への転嫁等に注力してまいりましたが、売上と利益のバランスを重視した戦略を実行したことにより、当初見込み通りの売上高の達成には至りませんでした。

一方、利益面につきましては、販売価格への転嫁により利益率の向上が図れたこと、及びECマーケティング事業のノウハウやビッグデータを活用したECサポート事業へ注力したことにより利益率は大きく向上しております。

利益率向上に大きく寄与したECサポート事業につきましては、ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社との業務提携に伴う受注案件が売上計上される等、昨年を大きく上回る受注を獲得することができ、受注件数は順調に伸びてまいりました。

当連結会計年度より開始した新規事業であるメディア事業につきましても、順調にPV数が増加しており、翌期以降は収益獲得フェーズとして、当社グループの業績に寄与していく見込みです。

また、当社グループは、ECサポート事業及びメディア事業を伸長させるために、2018年9月4日付で株式会社カンナートを連結子会社としました。今後は自社事業におけるECサイト運営のノウハウを取引先のECサイト構築・運用に活かし、ECシステムの開発から制作・運用及びそのメディア配信まで一手に行ってまいります。

以上の結果、売上高は6,907百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は349百万円（前年同期比253.6%増）となりました。

### ② 商品企画関連事業

商品企画関連事業におきましては、売上高は順調な成長となっております。一方、取引先増加に伴い、生産能力を増強すべく新規工場の開拓のための先行投資を行っているほか、引き続き新規商材開発への投資等将来を見据えた事業投資を進めていることから、販売費及び一般管理費は増加しております。

以上の結果、売上高は1,334百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は79百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

### ③ アクトグループ事業

アクトグループ事業におきましては、海外取引案件で取引開始時期に遅れが発生する等の影響により、想定していた売上高1,322百万円に対して486百万円（36.7%の達成率）の実績値となりました。

以上の結果、アクトグループ事業の売上高は486百万円、セグメント利益は13百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は8,778百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は192百万円（前年同期比991.8%増）、経常利益は203百万円（前年同期比378.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は135百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失5百万円）となりました。

## ■ 株主の皆様へ

2018年10月期におきましては、売上高、各段階利益ともに期初に想定していた数値を超えて過去最高を達成いたしました。

しかし、当社グループを取り巻く経営環境は、EC市場の継続的な拡大やインターネットを活用した新しい決済手段が普及する等、依然として激しい環境の変化が予想されます。本年度は、消費者の多様化するニーズに対して常に意識し、変化に耐えうる組織作りを推し進め、企業価値を高めるとともに、中長期成長コンセプトである「メタECカンパニー」のさらなる進展を目指します。

今期の業績予想につきましては、2018年10月期以上の売上高及び利益額を見込んでおりますが、ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社とのEC事業が開始される等大幅な変動が予想されるため、詳細が固まり次第、当該事業の影響を勘案し開示させていただきます。

株主・投資家の皆様には今後とも当社グループにご期待いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 企業理念

### 『サービスや商品を創るヒトの大切な思いを、消費者へ伝える橋渡し役』

として、インターネットを介し世界に発信していく。これが当社の企業理念です。

この理念に沿って、取引企業様の商品を私たちのマーケティングデータ収集と分析力を駆使して、ニーズに合う消費者に届けること。この仕組み作りが、当社のコアビジネスです。

## ジェネレーションパスのあゆみ

ジェネレーションパスは、アルバムなどの思い出写真のアーカイブ化、映像化システムの製造販売を目的とした事業からスタートしました。「大切な思い出をきれいな状態で振り返ることができるようにしたい」それがジェネレーションパス設立のきっかけです。

「ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社」との業務提携。

「青島新綻紡貿易有限公司」を子会社化。

「株式会社カンナート」を子会社化。 < KANNART >

東京証券取引所マザーズ市場に上場。



ネットマーケティング事業

「リコメン堂」開始。



2003年

東京都新宿区西新宿（現所在地）に本社を移転。  
ブライダル専門映像サイト「ブライダル DVD」  
事業をスタート。



2002年



思い出写真のアーカイブ化、映像化システムの製造販売を事業目的とした、  
「株式会社ジェネレーションパス」を設立。

2018年

2017年



メディア事業として、  
「イエコレクシオン」を開始。

2014年

2012年



システム構築企業

「株式会社トリプルダブル」を子会社化。

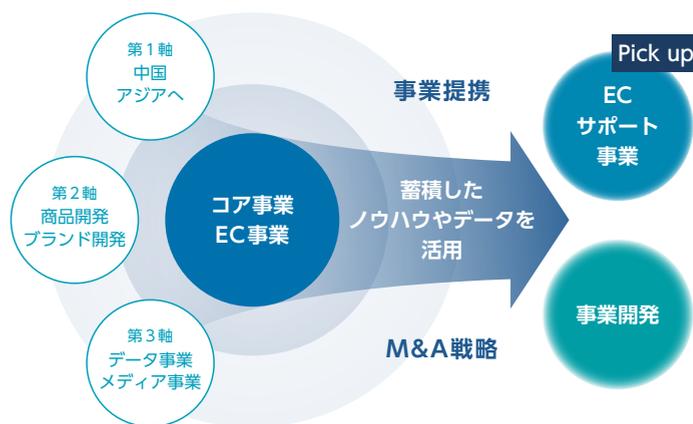
2007年

## 『メタECカンパニー』のさらなる進展に向けて、1+3軸で成長。

- ・会員組織をもつ企業と、当社のビッグデータや分析力等のECノウハウを共有することによりシェアの拡大を行う。
- ・国内ECを主軸としながらも、ECに関連して海外展開・自社商品開発そして非物販事業（データ・メディア）などへ、M&Aを用いながら多面的な拡大を行う。
- ・EC事業で培ったノウハウやマーケティングデータを活用して、ECサポート事業及び新規事業開発を加速させる。

詳細は決算説明会資料をご確認ください。

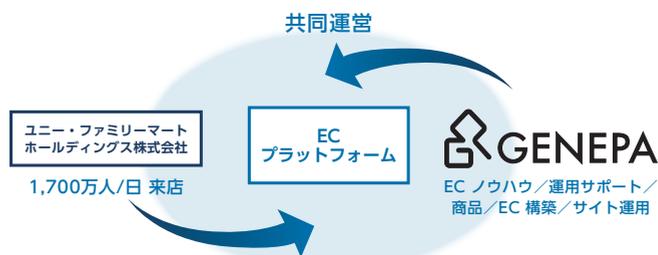
⇒ <http://www.genepa.com/ir/irlibrary/briefing/>



### Pick up ①

#### ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社との業務提携を締結

新たなEC事業の構築に関して、ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社と業務提携契約を締結しました。今後両社により構築するECサイトにおいて、当社は、新たな取り組みとして、事業の拡大を図ってまいります。現在、ECサイトの構築を進めており、2019年10月期下期中には新たなECサイトの共同運営を開始予定です。



### Pick up ②

#### 青島新綻紡貿易有限会社を連結子会社化

2018年4月11日付で青島新綻紡貿易有限会社（以下、「新綻紡社」といいます。）を当社の連結子会社としました。新綻紡社は、中国の青島に本社を構え、繊維製品の開発・生産・販売及び貿易事業を行っている会社です。新綻紡社の当社グループ参画により、越境EC事業を推進する当社のECマーケティング事業におけるノウハウを同社に付加し、新綻紡社を中国における当社グループの事業拠点といたしました。これにより、新綻紡社で供給する良質な原材料、機能糸、高付加価値な製品等の幅広い商材を世界各国に提供することが可能となりました。

### Pick up ③

#### 株式会社カンナートを連結子会社化



2018年9月4日付で株式会社カンナート（以下、「カンナート社」といいます。）を当社の連結子会社としました。カンナート社は、WEB制作業務に加え、各種WEBサービスの企画・立ち上げから、WEB集客・キャンペーン等の運用まで幅広く提供しており、特にEC分野におけるWEBマーケティングに強みを有しております。今後は、ECシステムの開発から制作・運用及びそのメディア配信までを当社とカンナート社が一体となって内製化を行うことにより、当社のECマーケティングのノウハウが外部に流出することなく、大規模なECサイトの構築・運用を行ってまいります。

### Pick up ④

#### 経営資源の「選択と集中」によりアクトグループを連結子会社から除外

2018年11月30日付で、アクトグループ及びITEA株式会社を連結子会社から除外することとしました。ECマーケティング事業でのノウハウやビッグデータを活用したECサポート事業及びメディア事業への注力を行うこと、及びグループ運営の中で当初想定したシナジー効果が得られなかったことから、2017年9月に当社の連結子会社となってから1年間と判断期間は短いものの、早期に当社グループの総合的な企業価値の向上を図ることが重要と判断し、経営資源の「選択と集中」を行いました。

売上高、各段階利益ともに過去最高を達成。  
EC事業のパートナー企業数は着実に増加し、取扱い商品数は150万点を突破。

POINT 1

パートナー企業数  
**647社**  
取扱い商品数  
**151万点**

POINT 2

連結売上高は  
ECマーケティング事業、  
商品企画関連事業とも増加で、  
**8,778百万円**

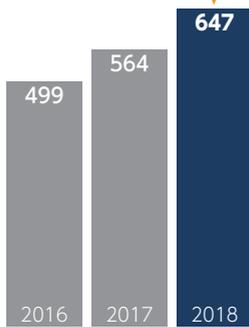
POINT 3

経常利益は  
ECサポート事業への注力といった  
利益率向上に関する取り組みにより、  
**203百万円**

営業指標

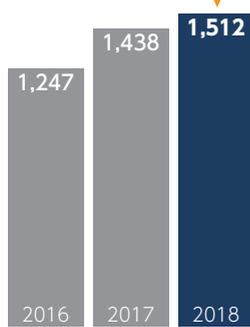
パートナー  
企業数  
(社)

前期比  
**+14.7%**  
↑UP



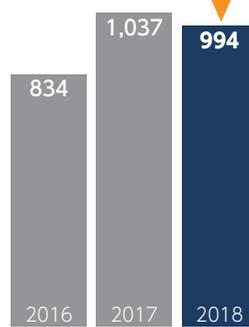
取扱い  
商品数  
(千点)

前期比  
**+5.1%**  
↑UP



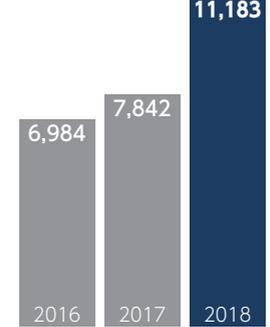
年間  
注文件数  
(千件)

前期比  
**-4.1%**  
↓DOWN



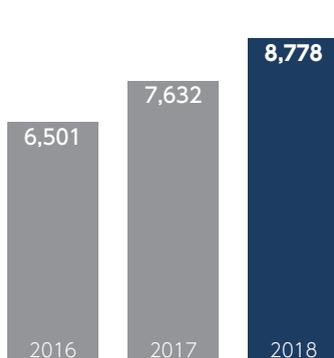
年間  
ページビュー数  
(万PV)

前期比  
**+42.6%**  
↑UP

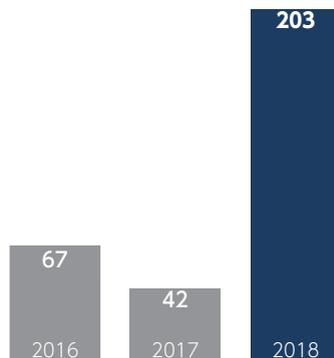


経営指標 ※

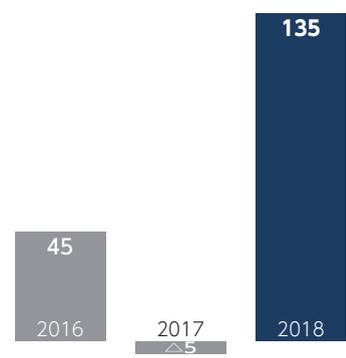
売上高  
(百万円)



経常利益  
(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
(百万円)



総資産

**3,285**  
百万円

純資産

**1,653**  
百万円

自己資本比率

**48.4**  
%

1株当たり当期純利益

**16.69**  
円

1株当たり純資産

**196.14**  
円

※2017年9月15日付でアクトインテリア株式会社、ヤマセイ株式会社、株式会社YARN HOME及びITEA株式会社の株式を新たに取得したことにより連結子会社としたため、前連結会計年度から連結の範囲に含めております。なお、2017年10月31日をみなし取得日としているため、各社の2017年10月31日の貸借対照表のみを連結しております。

## ECサイトのご案内



幅広いジャンルの商品がなんでも揃うワンストップブランド「リコメン堂」。充実の家具・インテリアでは、ベッド、ソファ、照明、オフィス家具など、暮らしの「あるといいな」を揃えています。



<https://www.rakuten.co.jp/rcmd/>



「イエコレクション」はおしゃれな家具や実例、家に関するアイデアを紹介するサイトです。人気記事のランキングとともに、おすすめの商品を紹介しています。



<https://iecolle.com/>

## 企業情報 (2018年10月31日現在)

### 会社概要

|     |   |
|-----|---|
| 社名  | 株式会社ジェネレーションパス<br>(GENERATION PASS Co., Ltd.) |
| 設立  | 2002年1月18日                                    |
| 資本金 | 6億2,599万円                                     |
| 所在地 | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-1<br>西新宿パークウエストビル5F   |
| 社員数 | 88名   |

### 役員 (2019年1月30日現在)

|          |       |
|----------|-------|
| 代表取締役    | 岡本 洋明 |
| 取締役      | 久野 貴嗣 |
| 取締役      | 桐原 幸彦 |
| 取締役      | 鈴木 智也 |
| 取締役 (社外) | 遠藤 寛  |
| 常勤監査役    | 粕谷 達也 |
| 監査役 (社外) | 次廣 秀成 |
| 監査役 (社外) | 内山 和久 |

### 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 20,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 8,264,440株  |
| 株主数      | 1,947名      |
| 大株主      |             |

| 株主名                             | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------------|---------|---------|
| 岡本 洋明                           | 2,145   | 26.53   |
| CT Bright Holdings Limited      | 1,400   | 17.31   |
| 久野 貴嗣                           | 719     | 8.90    |
| Lucky Shore Investments Limited | 338     | 4.19    |

※1 持株数は、いずれも千株未満を切り捨てて表示しております。  
※2 持株比率は自己株式 (159,747株) を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株式事務のご案内

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 マザーズ市場    |
| 1単元の株式数 | 100株              |
| 決算期     | 毎年10月31日          |
| 定時株主総会  | 毎事業年度末日の翌日から3か月以内 |

**公告方法** 電子公告により行います。但し、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付及び電話照会先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株式会社ジェネレーションパス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-1 西新宿パークウエストビル5F  
(電話) 03-3343-3544 (FAX) 03-5321-6191

